

ダイカスト品試作・少量生産向け精密鑄造法

小ロット鑄造法 II

ダイカスト品の試作・少量生産を高精度・短納期で製作するジャノメ独自の精密鑄造法です

商品開発における開発スピード向上のニーズは年々高まっており、ダイカスト部品の試作においても、開発時のロスを少なくするため、量産レベルの試作品の要求が強くなっております。ジャノメは、1983年に『小ロット鑄造法』を開発し、お客様のダイカスト部品の試作要求にお応えしてまいりました。このたび、一層のダイカスト量産レベルの高精度化を実現した精密鑄造法



『小ロット鑄造法』を開発しました。



『小ロット鑄造法』は製品開発におけるダイカスト部品の試作において要求されるあらゆる要素(精度・鑄肌・型割り検討等)をダイカスト金型の製作をしなくても同水準で実現できます。量産品の設計評価が出来るため、設計の見直し 再評価といったロスが軽減でき、より効率的な開発業務にお役に立つ工法です。また、試作目的以外の小ロット生産にも対応できます。

3つのポイント

- データ受領後最短7日間で納入可能！
- ダイカスト品に要求されるあらゆる要素を金型製作なしに実現！
- 従来法に比べコスト競争力のアップを実現！

2010.01